

住民投票

提言書

住民投票

市民にとって大きな争点となった個別課題については、市民が意思を示すことができる仕組みづくりが必要であり、住民投票制度がこれに当たります。

庁内の意見から

【都市計画】

個別型でよいのでは？ここは、「住民」限定にすればいい。

氷見市自治基本条例検討委員会資料（H29.4.24）

条文（案）

（住民投票）

第１７条 市長は、市政に関する重要な事項について、住民の意思を確認するため、別に条例で定めるところにより、住民投票の制度を設けることができる。

（住民投票の尊重）

第１８条 市は、住民投票の結果を尊重するものとする。

【解説】

第１７条、１８条は、住民投票について規定したものです。

市政に関する重要な事項について、市民の意思を示したいと多くの市民が考えるときに起動する、いわば非常ベルの役割を果たすのが住民投票制度です。市政に関する重要な事項とは、その事案によって異なると考えられるため、事案ごとに別に条例で定めます。住民投票は、法的な拘束力を持たないことから、その結果について市長の選択や決断を拘束するものではありませんが、この結果を「尊重する」必要があるため、第１８条で規定をしています。なお、非常ベルという役割から、危機管理に近い位置に条文を置いています。